

社会事業調査資料文献／概要

(戦前日本社会事業調査資料集成・別巻)

全1冊

A5判・上製・約1350頁 ISBN978-4-908926-64-8 定価(本体 34,000円+税)

約1300点

社会事業(社会福祉)調査資料文献

[戦前期(明治後半期～1945年8月)]

調査・研究は
まずこの1冊から始まる!

研究者・研究機関・図書館必備

分類区分一覧

◆各調査・資料は以下の項目で解題される。

- ①資料の概要
- ②資料の特徴
- ③調査の概要
- ④調査の内容
- ⑤集計の特徴
- ⑥資料の所蔵
- ⑦備考

貧困・困窮者/救済・救護
浮浪・ルンペン・乞食・行路病者
木賃宿/無料・簡易宿泊所
屑拾い・パタヤ/残飯・残食物
水上生活者(水上児童含む)
貧民窟・スラム・不良住宅地区
不良住宅地区改良事業と改良後の生活
状況
住宅困窮・住宅難/家賃問題
公的住宅(公営住宅・同潤会住宅)
生計・家計状態
救療/無料・軽費・実費診療(その1)
冷害・凶作
産業災害・鉱工業災害/戦争災害
傷病兵・傷痍軍人/遺家族援護
営利的職業紹介業/職業紹介事業
失業者・自由労働者(日稼・日雇)
職業婦人・婦人労働

物価騰貴と米騒動/経済保護事業
公設市場
営利質屋業/公益質屋
公設食堂/公衆浴場
内職・副業
授産事業・授産施設
隣保事業・セツルメント事業
農村社会事業・山漁村の生活
乳児死亡/出生・死亡状況
妊産婦・乳幼児保健
児童の生活状況・実態/私生児・家出・
浮浪・自殺
児童保護事業(概要・施設一覧)
児童保護活動/児童相談/一時保護
児童遊園・児童公園/遊び・玩具
欠食・栄養不良/給食・栄養補給
虚弱・病弱児/林間学校・転住施設
障害児童(特殊・異常児含む)
保育・託児所(常設)
工場鉱山の保育・託児
棄児/児童虐待/親子心中
育児・養育事業(育児院・孤児院)
乳児昼夜保育(乳児院)
里子・里親/家庭養育委託
貧児教育・不就学問題/就学奨励
児童労働・児童の就業状況
小卒児童の進路・希望/就職状況
少年職業紹介・就職後指導
不良児・非行問題一般
感化院・少年教護院/感化事業
少年院・少年審判院/保護少年
幼年監獄・少年受刑者
母子保護/母子ホーム(父子含む)
女中・派出婦・家政婦

芸娼妓・酌婦紹介業(公周施業)
人身売買・身売/婦女出稼問題
娼妓・娼婦/公娼運動
女給・ホステス
養老事業・養老院/老衰者
障害者(盲・不具・廢疾)
自殺
精神病
癩病(ハンセン氏病)
結核
花柳症・性病
麻薬など薬物中毒
出獄人・免囚保護/司法保護事業
内地居住の朝鮮人
社会保険(健保・年金・国保)
社会事業(施設)一覧・名鑑類(全国)
社会事業(施設)一覧・名鑑類(府県・都市)
社会事業概要・要覧類(全国)
社会事業概要・要覧類(北海道・東北/東京・
関東/中部・北陸・東海/関西/中国・四国/
九州・沖縄)
都市社会事業/大都市比較
社会事業統計調査関係
社会事業奨励助成/共同募金/寄附金
委員制度(方面委員・救護委員など)
社会事業(施設)の連絡団体
社会事業(施設)の状況全般(視察報告年表
など)
社会事業(施設)の経営/私営事業/公私問題
社会事業(施設)の入所・利用者/処遇
社会事業(施設)職員/功労者
社会事業(施設)の職員養成
社会事業全般

今日的(課題・問題)への
有益・有効なヒントを蔵する
資料群への頼りになる案内

本書は同研究会編『戦前日本社会事業調査資料集成』全10巻(勁草書房1986-95)の「別巻」です。「補巻(災害救助)」に続き〈シリーズ完結〉となる書です。シリーズご所蔵機関にはぜひお備えください。

戦前日本社会事業調査資料集成・補巻(災害救助)

*好評発売中

[2017年10月発行]

社会福祉調査研究会編〔発売元・大空社出版〕 A5判・上製・830頁 ISBN978-4-908926-18-1 定価(本体 20,000円+税)

学術資料出版

〈発売元〉

大空社出版

eigy@ozorasha.co.jp

TEL:03-5963-4451 / FAX:03-5963-4461

東京都北区中十条4-3-2 (〒114-0032)

www.ozorasha.co.jp

戦前日本社会事業調査資料集成・補巻(災害救助)

社会福祉調査研究会編〔発売元・大空社出版〕 A5判・上製・830頁 ISBN978-4-908926-18-1 定価(本体 20,000円+税)



〈一般災害〉1・罹災者「バラック」生活実情調査(大正12)より

〔本文〕

罹災者「バラック」生活実情調査

一、序言

凡そ、貧苦乏乏を救済するには、物資を以てすべきは言ふまでもないが、精神的指導救済も亦欠くべからざる一面である。況や今回の様な、突発急激の間に生じた異常の変異災厄が人心に一大衝動を与へた場合には殊に然りである。然るに多くの場合に於いて、此の方面がいつも忽諸「マゴ」に附せられるのは誠に遺憾な事である。而して彼らに接触することは一面又、罹災当事者より見た処の諸般の希望、批判、観察等彼等の心理状態の一斑をも窺ふ事が出来るから、以て正確適切な対策の資料を見出す事も出来やう。

即ち斯うした両面の意味を持って、主として婦人事務員をして精神的慰問をなし、兼ねて諸項の調査をすすめた次第である。

二、慰問及調査諸項並に其区域と日程

(一) 慰問

精神的慰問

調査箇所	戸数	芝公園	宮城前	日比谷公園	上野公園
芝公園	四三	三	四	一	一
宮城前	三八	一	一	一	一
日比谷公園	四九	一	一	一	一
上野公園	四三	一	一	一	一

(二) 調査

(一) 芝公園

二、宮城前

三、日比谷公園

四、上野公園

五、本所深川方面

六、芝離宮

七、新宿御苑

八、靖国神社

九、本所被服廠跡附近

十、明治神宮外苑

又、調査戸数並に避難者の元住居して居た区別は左の通りである。(附帯調査として、職業及世帯員の性別等をも調査した)

は位牌計を確保して売れるまでは売尽して立退いた破家の内を窺いた時の感情である

●落葉にまじる村時雨

た中には背負へる赤子を半ば背中より現はして己が腹を寒風にさらして一向感じもない子等が沢山ある。いかに家が野原が分らぬ吹通しの破屋に向つたとは云へ余りといへば驚く計りの有様で身には単物が纏入るか衣物が被覆か何とも名状する事の出来ない物を纏はせられて背の鼻を垂しながら幾人も(の)児童が物珍らしげに我等が左右に集つて来



265 飢毒地の惨状 第一編

〈産業災害〉鉱毒地の惨状(明治35)より

2,500円00銭

(15) 現況

大正十四年九月十五日旧所ヨリ移転シ日尚浅キ為諸立セズ現在(十五・二・二四)収容人員十七名園人ヲ求メラレ成績ノ良好ナルモノヲ奉公セシムル教練、娯楽、野球、遠足、フットボール、ランニ

〔007〕 浅草観音浅草寺病院

(1) 名称

浅草観音浅草寺病院

(2) 代表者職氏名

浅草寺住職 救護榮海

(3) 事務所所在地

本部：浅草公園浅草寺社会部内 支部：浅草公園弁

(4) 事業施行地

浅草公園地第二区弁天山下

(5) 創立年月日

明治四拾参年八月十五日

(6) 組織

個人経営

(7) 目的及事業ノ種類

目的：治病起信

事業ノ種類：細民救療事業

(8) 大震災災二因ル損害

・建物 全焼：三棟二十八坪 損害見積額：8,600円

・什器其他 全焼：全部 損害見積額：約5,000円

・計 損害見積額：13,600円

補一11-(2) 各道府県の罹災救助基金現在高の推移(1918~39年度) その①(北海道~埼玉)

*1. 本資料(補一11-(2)は、以下に示す典拠文献から、罹災救助基金法による各道府県の罹災救助基金の現在高(積立額)の推移を見たものである(金額は千円単位に簡略化)
a: 帝国統計年鑑(刊行回数) b: 内務省統計報告(刊行回数)
c: 社会事業統計要覧(刊行回数、当初のものは調査年) d: 日本社会事業年鑑(刊行年次)
*2. なお、ここに示した以外の時期(年度)については、残念ながら当該典拠文献では得られず、その数値(→

時期/年度—典拠文献	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉
1918/大7—b 34#	802	561	751	719	795	797	709	1150	915	895	1346
1919/大8—b 33#	885	587	755	748							
1920/大9—b 35#	995	614	767	779							
同—c 要覧大9※	1021	610	765	776							
1921/大10—b 36#	1101	630	769	728							
1922/大11—b 37#	1153	650	797	759							
同—b 38※、c 統覧11※	1162	660	784	753							
1923/大12—b 39※、c 統覧12※	1152	690	806	787							
1924/大13—b 40※、c 7※	1197	719	822	819							
1925—a 47※、b 41※、c 8※	1202	718	845	859							
1926—a 48※、b 42※、c 9※	1270	744	872	898							
同—c 6#	1317	720	882	905							
1927/昭2—a 49※、b 44※	1326	780	882	950							
1928/昭3—b 44※	1386	808	914	985							
1929/昭4—a 50※	1475	837	953	1008							
同—b 43#	1449	820	965	1036							
同—b 44#	1438	837	945	1005							
同—c 9※、c 10※	1370	820	945	1007							
1930/昭5—a 51※	1374	870	976	1062							
同—b 45※、c 11※	1373	862	912	1062							
1931/昭6—a 52※	1423	910	974	1117							
同—b 46※、c 12※	1485	1075	934	1118							
1932/昭7—a 53※	1194	771	957	1176							
同—b 47※	1206	817	918	1246							
*同—c 11※	1156	847	940	1250							
1933/昭8—a 54※	751	686	486	1124							
同—b 48※	746	687	486	1180							
同—c 12※	717	683	971	1193							
1934/昭9—c 55※	764	583	503	1126							
同—b 49※	713	762	483	1125							
同—c 13※	709	659	464	1199							
1935/昭10—a 56※	864	583	560	1106							
同—c 14※	812	608	508	1041							
1936/昭11—a 57※	813	543	559	1080	1000	1413	1187	1809	1743	1449	2390
同—c 15※	736	566	515	1114	1045	1438	1214	1663	1850	1475	2492
1937/昭12—d 13※	865	552	571	1128	1037	1461	1197	1915	1749	1504	2489
1938/昭13—c 16#	990	559	559	1166	1060	1518	1207	1938	1818	1438	2518
同—c 16※、d 14・15※	937	580	595	1205	1060	1438	1184	1702	1867	1526	2557
1939/昭14—d 14・15#	1107	569	565	1136	1057	1518	1204	1720	1671	1460	2404

373 罹災救助基金法施行関係資料

[456]

本文見本

(縮小)

〈一般災害〉7・大震災と社会事業(大正15、未公刊)より